

Pray for Japan

パルシステム東京
東日本大震災復興支援活動報告書 2016

パルシステム東京は「3.11を忘れない」を基本視点に、東日本大震災被災者支援のため、組合員とともに様々な支援活動に取り組んできました。2016年度の取り組みについて、ご紹介します。

トピックス 宮城県東松島市 仮設住宅への支援

2011年に、宮城県東松島市の仮設住宅で、組合員参加の傾聴ボランティア「パル・パラソルカフェ」による被災者支援をはじめから6年。これまで形を変えながら、継続して支援を続けてきました。仮設住宅の皆さんの多くは2017年に高台の災害公営住宅に移り住むことが決まっています。仮設住宅での最後の交流と、これまでの支援活動を振り返ります。

2016
7/24
25

夏休み参加して復興応援！ 仮設住宅の夏祭りボランティア

in宮城&東松島・石巻被災地見学

2014年から支援してきた仮設住宅の夏祭りも今年で最後。住民の高齢化が進む中、パルシステムの応援を心待ちにしている気持ちがひしひしと伝わり、手を取りあって最後の夏祭りを惜しむ姿も。

2日目は津波被害にあった旧門脇小学校と旧大川小学校（石巻市）などを訪れ、「被災地を忘れない」気持ちを全員で共有しました。



自治会の販売のお手伝いや、カキ氷、輪投げなどの出店、ゲーム大会で祭りを盛り上げました。

2017
2/11

宮城県東松島市

仮設住宅日帰り訪問

災害公営住宅への移転前に、これまでの支援参加組合員と仮設住宅の方々との交流会を開催。思い出を語り合い、今までの交流の積み重ねが絆に変わっていくことを認識しました。

移転予定の高台、野蒜北部丘陵地区の復興に向かう様子も見学し、参加組合員と「私たちがこれからできる支援」について話し合いました。



これまで交流を深めてきた仮設住宅の皆さんと組合員

2011 — 2012



傾聴ボランティア 「パル・パラソルカフェ」

仮設住宅の集会所等で、カフェの開設と傾聴活動を開始。組合員も交えた住民同士の交流が活発に行われました。（計7回、組合員63人、役職員60人が参加）

2013



支援仮設住宅を視察

4つの仮設住宅を訪問し、住民の方々との再会。現在の状況を聞き、今後の支援を考える機会をもちました。（組合員10人、役職員6人が参加）

2014 — 2016



仮設住宅・自治会夏祭りの支援

自治会からの要請で、2014年から夏祭り支援を開始。流しそうめん、お菓子のつめ放題などの出店で、祭りを盛り上げました。（計3回、組合員等62人、役職員37人が参加）

2017



仮設住宅への訪問&交流

支援の節目として仮設住宅の方々との交流会を開催。（組合員8人、役職員10人が参加）

2017年夏から、仮設住宅の方々は災害公営住宅へと移転。


